

# 「フェアトレードが嫌いになった!」(インド在住インターン)

## 本気で! アジアで! 働き学ぶ

社会に役立つホンモノの人材とは何か? を議論します。

「働き方改革」という言葉が耳慣れてきた現在。大学を卒業したばかりの私が思うのは、「今、私がしたい生き方」が「社会の改革」になるのではないかと。ということです。「選択できる」生き方が豊富にあるように見える現代だからこそ、その「選択肢」に飽き足らない若者や大人の、自分の生き方・活躍の場を「創造」する生き方が社会に必要なのではないのでしょうか?そして、その「創造」する生き方がホンモノと言えるようになるためには、更に何が必要か?その解が、アジアや田舎など広く地域コミュニティにとって必要な人材であり、それが都市の企業にとっても生活者の視点という点で必要な人材となることでしょう。

今回の勉強会は、そんな創造的なアジアの現場を経験した女性インターン3名が、それぞれの経験談を交え、自分がどこへ行っても本当に必要とされる人材になるには?日本を先進国と思いアジアを遅れた国と思っていた狭い狭い日本を飛び出し、アジア人として働くためには何が必要なのか?本気でアジアで働くってどういうことなのか?を議論します。

また、同時に「私もアジアで働きたい!」という人を募集しています。人材募集から「才」を集める人才(ジンサイ)募集へ、私たちCWB(Community network Without Border)はアジア10か国でアジア人と一緒に拠点をつくり、海外や日本でインターンを延べ25名受け入れています。安定が保証されたお給料で組織に就職する考えで就活を考えている学生よりも、自分で1からプロジェクトを立ち上げたいという若者に対して事業計画をヒヤリングしつつ、アジア人との起業に積極的に投資を行います。現場感覚で無駄遣いをせずに、次につながる生きたお金の使い方も同時に学びませんか?アジアに興味を持った人、アジアで働いてみたい、自分の可能性、アジアの可能性、社会の新しい可能性を自分たちで切り開きたい若者、大人にぜひとも聞いてもらいたい勉強会です。

パネラー紹介 進行/ 松井名津: 松山大学経済学部教授 アジア10か国のメンターのおひとり

岩崎安奈: 「フェアトレード」に関わりたくてCWBのインターンを始める。インドに駐在しながら、生産者とともに商品開発を進め、地域ごとに特色のある生産者を回るなど、インドの人・文化・商品を通して活動する。



桜井祐子: 桜美林大学4年。昨年一年間休学し、フィリピンの若者とともにその地域の産物を使ったクッキープロジェクトを立ち上げる。たった一人で戒厳令下のミンダナオ島に乗り込み、地元の若者と地域の仕事づくりに貢献。



富田春香: 絵筆を武器に美術はいかにアジアに貢献できるかを通して模索。今年武蔵野美術大学を卒業後、CWBのスタッフとして、アジア10か国をつなぎその魅力を発信すべくITプロジェクトを推進。



「アジアへ、田舎へ」呼びかけ/CWBインドネシア: ユダ・プルマナ / CWB山口県楠クリーン村: 福田由里恵

- 日時: 2018年5月31日(木) 18:30~20:00
- 場所: コミュニティトレードセンター城南島(大田区城南島2-9-6)
- 問い合わせ先: [tomita@flowerbasket.jp](mailto:tomita@flowerbasket.jp) 03-3799-8881 ホワイエ 富田
- 以下のサイトでCWBをご紹介します。

CWBの活動 <http://cwb-team.net/2goume> インターン事例 <http://cwb-team.net/jinsai/>